

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人 妙常会  
千年たちばな保育園

平成 30 年 12 月 5 日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 〔川崎市福祉サービス第三者評価結果報告様式〕

(認可保育所版)

|                     |   |
|---------------------|---|
| ■ 対象事業所、評価方法等 ..... | 1 |
| ■ 総合評価 .....        | 2 |
| ■ 全体の評価講評 .....     | 2 |

### <サービス実施に関する項目>

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| ■ 共通評価領域 1 サービスマネジメントシステムの確立 .....        | 4  |
| ■ 共通評価領域 2 人権の尊重 .....                    | 7  |
| ■ 共通評価領域 3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供 ..... | 9  |
| ■ 共通評価領域 4 サービスの適切な実施 .....               | 11 |

### <組織マネジメントに関する項目>

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ■ 共通評価領域 5 運営上の透明性の確保と継続性 ..... | 14 |
| ■ 共通評価領域 6 地域との交流・連携 .....      | 17 |
| ■ 共通評価領域 7 職員の資質の向上の促進 .....    | 19 |

### <利用者調査結果>

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ■ 認可保育所 利用者調査項目（アンケート） ..... | 21 |
|------------------------------|----|

〔川崎市福祉サービス第三者評価結果報告様式〕  
(認可保育所版)

|            |                              |
|------------|------------------------------|
| 対象事業所名（定員） | 千年たちはな園（定員60人）               |
| 経営主体（法人等）  | 社会福祉法人 妙常会                   |
| 対象サービス     | 保育分野（認可保育所）                  |
| 事業所住所      | 〒213-0022<br>神奈川県川崎市高津区千年107 |
| 事業所連絡先     | 044-741-5510                 |
| 評価実施期間     | 平成30年6月～平成31年1月              |
| 評価機関名      | 株式会社 フィールズ                   |

|                      |                                                                                    |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価実施シート<br>（管理者層合議用） | 評価実施期間<br>平成30年7月27日～平成30年9月30日                                                    |
|                      | （評価方法）<br>・管理者の合議により、決められた評価票により自己評価を実施した。                                         |
| 評価実施シート<br>（職員用）     | 評価実施期間<br>平成30年7月27日～平成30年9月30日                                                    |
|                      | （評価方法）<br>・職員へ説明を行い各自が評価票で自己評価を実施した。<br>・記入後は職員から直接評価機関へ郵送してもらった。                  |
| 利用者調査                | 配付日）平成30年8月28日                                                                     |
|                      | 回収日）平成30年9月30日                                                                     |
|                      | （実施方法）<br>・園より利用者家族全世帯へアンケート用紙を配布した。<br>・記入後は返信用封筒にて直接評価機関へ郵送してもらった。               |
| 評価調査者による<br>訪問調査     | 評価実施期間（実施日）／平成30年10月30日                                                            |
|                      | （調査方法）<br>・評価調査員2名が訪問して、施設の見学および利用者保育観察を行った。<br>・同様に資料調査および関係者へのヒアリングにより事業者調査を行った。 |

## 〔総合評価〕

### ＜施設の概要・特徴＞

千年たちばな保育園は、平成29年4月に市立保育園から民営認可保育園に移管した保育園です。運営法人は、海老名市、川崎市で複数の保育園運営を行っている、社会福祉法人妙常会です。

園には、1歳児から5歳児の60名が在籍し、日常の保育活動は1・2歳児の乳児クラス、3・4・5歳児の幼児クラスの縦割り保育を行っています。

園舎は、南武線武蔵中原駅からバス15分の住宅街にあり、鉄骨造り2階建てで1階を幼児室、2階を乳児室にし、乳児室前には、夏の幼児用のプール、乳児の水遊びや多目的に利用できる広いテラスがあります。園庭には、滑り台、鉄棒、トランポリン、雲梯などの遊具を取り揃えています。

保育方針として、仏教保育とモンテッソーリ教育を導入しています。仏教の慈しみの心を育む保育環境の中でモンテッソーリ教育による入園から卒園までの一人一人のプログラムを作成し、子どもが自己肯定感を得ながら成長出来る保育環境にしています。給食やおやつは、管理栄養士と調理師の新鮮で旬の食材を使用した手作り食です。香り・食感・味の体験をし、食べることを通して命あるものをいただくことの意味も伝えています。

## 〔全体の評価講評〕

### ＜特によいと思う点＞

#### 1. 入園から卒園まで、一人一人の成長に沿った支援を行っています

1歳児から5歳児までの乳児期、幼児期に必要な成長環境を整え、子どもの中にある命の力、自ら成長しようとする力を大切に育むモンテッソーリ教育を取り入れ、一人一人のプログラムを作成しています。

自らが興味、創意工夫につながる発達過程に日常生活・感覚・言語・数教育・文化の項目を基に一人一人を観察し、支援するところ、引き伸ばすところなど確認しています。モンテッソーリ教育の資格保有者が、園長、主任、保育士ら5名在籍しており、各クラスのリーダーとして日常の保育活動を進めています。

#### 2. 職員に求める人材像を明確にして資質向上に取り組んでいます

基本方針や中・長期計画の中に求める人材像を明示して、職員に福祉における倫理観や高い専門技術の向上を目指しています。

職員のキャリアアップとして、保育の質の向上に向けた年間の研修計画を作成しています。モンテッソーリ教育をはじめ、経験や職務に必要な内部・外部研修の参加を組み込んだ人材育成を行っています。

#### 3. 日本の伝統食作りも取り入れ、充実した食育を実施しています

5歳児を中心にしたクッキング活動があり、年下の子どもも手伝える作業や見学するなど全園児が関われる食育活動にしています。

伝統食作りでは、豆を煮て、つぶし、麴に混ぜる味噌造りにも挑戦し、仕込んだ味噌は、給食で皆でいただきます。水羊羹、ぼた餅、イチゴジャム、バターどら焼きなども作っています。

園庭の前に農園があり、この農園を使い子どもたちが野菜栽培をしています。野菜の成長の様子を真近で観察することが出来、野菜の栽培から食への興味・関心、食べることの大切さにつながる食育活動となっています。

## ＜さらなる改善が望まれる点＞

### 1. 子どもたちの世界が広がる活動の実施

園では年間の散歩計画により、年齢別、目標、ねらい、歩き方、春の花見、夏の虫観察、秋のドングリ、冬の桃の花見など四季に応じた行き先を細目に分けて計画しています。

しかし、交通事情や安全性を考えて、現在は散歩の回数は少なく、園庭での遊びが中心になっています。1歳児～5歳児はルールや知識などを吸収する時期でもあり、散歩により社会性を培う機会ともなっています。今後は、安全対策を万全に行い、職員も子どもと一緒に楽しさを共感できる散歩などの活動により地域社会に接する機会の増えることが期待されます。

### 2. 園の理念等の表現を整合して周知する取り組み

園の理念・基本方針・保育目標を「園のしおり」「重要事項説明書」に明記しています。また、園だより、保健だよりなど園から発信する情報紙や掲示、インターネットでも数多く紹介しています。

しかし、掲載する資料によって理念などの表現に統一を欠いています。モンテッソーリ教育や仏教の教えについても保護者や職員に理解されていない面もあります。理念等の表現方法の検討などにより、関係者に周知し理解を深める取り組みが期待されます。

## ＜サービス実施に関する項目＞

| 共通評価領域                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 1 サービスマネジメントシステムの確立                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| <p>保育課程・年間/月間指導計画・週日案計画、すこやか手帳（園医健診・身体測定の結果）など、それぞれ決められたシートにねらい、自己評価、改善策も記録しています。</p> <p>園の保育方針として取り入れているモンテッソーリ教育を基本として、1歳児～5歳児までの「日常生活の練習」「感覚教育」「言語教育」「数教育」「文化」の5分野のプログラムに沿って保育を行っています。子ども一人一人の発達経過を観察し、入園から卒園までの成長を適切に記録しています。</p>                                 |  |
| <p>年齢別の事故防止安全配慮チェックリストを作成しています。ヒヤリハットの記録、怪我や発熱、嘔吐の発生状況は書面に残し、保護者や医師にその経緯が分かるようにしています。その後の経過も追記し、職員共有に配慮した保育をしています。</p> <p>事故防止、感染症、緊急時連絡体制などのマニュアルは、各部屋に設置しています。看護師は保育の現場に入り、子どもたちの日常の健康を把握しています。感染症流行時には予防や対策について、子どもにはわかりやすく説明をして、保護者や職員には適切な対応方法を伝え注意喚起をしています。</p> |  |

| 評価分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                          | A     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------|
| (1) サービスの開始・終了時の対応が適切に行われている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                          |       |
| <p>①園のしおり、高津区子育て情報ガイドのホームページ、子育て情報誌「ひろばノート」、「ホッと子そだて・たかつ」や園見学者などに園の情報を提供しています。また、見学者には、時間をかけて園舎内の案内、モンテッソーリ保育活動の内容など、見学をしてもらいながら詳しく説明をし、質問にも答えています。</p> <p>②保育内容や料金について具体的に記載された重要事項説明書と園の個人情報取り扱いについて説明し、保護者からの同意を得た上でサービスの開始をしています。</p> <p>③入園開始後の子どもや保護者の不安軽減にどんなことでも随時相談を受けています。また、必要な場合は、慣らし保育を行います。就学の子どもたちには、地域就学児らとの交流や小学校へ訪問する機会を多く作っています。また、保護者の相談は随時受け、就学先の小学校の情報提供をしています。職員は10月以降、定期的に小学校教諭らと就学がスムーズに行われるように情報交換を行います。</p> |                                          |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 保護者等（利用希望者を含む）に対してサービス選択に必要な情報を提供している。   | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。              | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | サービス利用開始後に、子どもの不安やストレスが軽減されるような支援を行っている。 | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 就学がスムーズに行われるよう、保育の方法や保護者とのかわりに配慮されている。   | ○     |

| 評価分類<br>(2) 手順を定め、その手順に従ったアセスメントを行い、サービス実施計画を策定している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                              | A     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------|
| <p>①入園前の提出資料として「児童票」・「健康記録表（出産時の様子、癖、体質など）」・「入園前の健康診断記録表」を基に、面接時では「災害時緊急連絡票」「生活調査票」「すこやか手帳」「1歳児の「食のしらべ」「アレルギーの有無」などを確認した上で個別の「生活記録」にファイルします。入園後の健康診断・歯科健診・身体測定などは、統一された書式に記録し、個別ファイルに追記します。個別ファイルは職員の共有です。</p> <p>②年間指導計画は4期毎に分け、月間指導計画は、1、2歳児は川崎市の個別指導計画を基に月齢や年齢に応じて作成し、3歳児から6歳児までの指導計画は、4カ月ごと3期に分け、クラス担任全員が順番に作成しています。作成時には、子どもの様子や保護者の意向も踏まえて話し合い、指導計画に反映しています。看護師、栄養管理士や調理師の部門的な意見・提案なども取り入れます。最終確認は園長と主任が行います。</p> <p>③年間指導計画を基に月間指導計画、週日案を作成します。それぞれの指導計画案に自己評価、及び、子どもの評価も記載し、クラス会議で話し合いの場を持ち、計画の評価や見直しをしています。</p> |                              |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                              | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 手順を定め、その手順に従ってアセスメントを行っている。  | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 指導計画を適正に策定している。              | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 状況に応じてサービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | ○     |

| 評価分類<br>(3) サービス実施の記録が適切に行われている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                               | A     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------|
| <p>①保育課程・年間/月間指導計画・週日案計画、すこやか手帳（園医健診・身体測定の記録）など、それぞれ決められたシートにねらい、自己評価、改善策を記録しています。特に園の保育方針として取り入れているモンテッソーリ教育を基本とした1歳児～5歳児までの「日常生活の練習」「感覚教育」「言語教育」「数教育」「文化」の5分野の項目に子ども一人一人の個別経過を観察し、入園から卒園までの成長を適切に記録しています。</p> <p>②子どもに関する記録は、職員室で管理しています。職員は、入社時に個人情報保護に関する研修の受講と誓約書を取り交わし、守秘義務に於いての管理は園全体で徹底しています。</p> <p>③登園時の子どもの情報や保育中の事故に至らないヒヤリハット、怪我の軽微に関わらず記録する傷害報告書、体調不良を起こした時に記載する病状報告書などに子どもの状況を記録し、ショート会議、緊急会議などで職員に周知し、共有します。</p> |                               |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                               | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 子どもに関する記録の管理体制が確立している。        | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している。     | ○     |

| 評価分類<br>(4) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                          | A     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------|
| <p>①入社時に「職場と心構え」「就業規則」など記載された「千年たちばな マニュアル」を職員に配布しています。また、非常勤職員にも子どもや保護者への対応に常勤職員との違いがないように責任を持って保育活動に携わる「先生の態度・心構え」を配布しています。園の保育方針を基にモンテッソーリプログラムに沿った教育・年間保育指導計画・月間・週案・日案・食育計画・保健年間計画などで標準的な実施方法で保育活動が行われていることを明確にしています。</p> <p>②作成された指導計画やマニュアルなど業務改善には、日々のショート会議や担当会議で提案や見直しの意見交換を行っています。特に行事に関しては、子どもの希望や保護者からの行事後アンケートなどを参考に見直し、次の計画に反映しています。</p> |                                          |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。            | ○     |

| 評価分類<br>(5) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                              | A     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------|
| <p>①事故防止・対応、感染症、緊急時連絡体制などのマニュアルを作成し、各部屋に設置しています。看護師が保育の現場に携わっているので子どもたちの日常の健康管理や感染症流行時の予防や対策について、子どもにはわかりやすく、保護者や職員には適切な対応の注意喚起をしています。</p> <p>②災害・避難・防災・防犯のマニュアルがあります。年間の避難訓練計画を作成し、毎月訓練を行っています。想定災害（地震・火災・不審者・風水害・引き取り訓練）に分け、自衛消防編成表、火災や地震の点検作業、訓練のねらい、指導内容、留意点などを確認しながら行い、「非常災害に対する訓練状況シート」に自己評価、見直しを記載して次に反映しています。備蓄品は、1階と2階の各階に分けて保管しています。</p> <p>③年齢別の事故防止安全配慮チェックリストを作成し、毎月園庭、保育室、遊具などの安全点検を行っています。年に2回害虫駆除行い、園舎内の衛生管理に努めています。ヒヤリハットの記録、怪我や発熱、嘔吐の発生状況は書面に残し、保護者や医師にその経緯が分かるようにしています。その後の経過も追記し、職員共有の下に配慮した保育をしています。</p> |                                              |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                              | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 緊急時（事故、感染症の発生時など）における子どもの安全確保のための体制が整備されている。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。                 | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。                | ○     |

## ＜サービス実施に関する項目＞

| 共通評価領域<br>2 人権の尊重                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>モンテッソーリ教育を取り入れて人権尊重の保育を実施しています。子どもを主体として「一人でできるように手伝うね」と子どもの気持ちを大切に取り組んでいます。子どもの個人の意思を尊重する取り組みになっています。「子どもが自由に選択したものに取り組める」ような環境設定に心がけています。園は民営化2年目になり、環境面においても体制を整えています。</p> |
| <p>保護者からは個人情報使用同意書に署名をもらい、園便り・ホームページ内の写真館・園紹介などに情報を掲載する同意を得ています。特に、写真館はIDパスワードを入力しなければ内容を見ることができないよう保護されています。職員も個人情報の扱いに対しての誓約書を提出、毎日のショート会議を通してプライバシーの保護に関して徹底した対応を実施しています。</p> |
|                                                                                                                                                                                  |

| 評価分類<br>(1) サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重して                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | A     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <p>①モンテッソーリ教育を取り入れ、まず、子どもを主体として「一人でできるように手伝ってね」という子どもが持っている気持ちを大切に取り組んでいます。その取り組みには、「子どもが自由に選択したものに取り組めるような環境設定を園として用意しています。</p> <p>②法人は、モンテッソーリ教育の国際資格デュプロマ取得に研修費用を負担し、受講中は、資格取得を優先にした勤務体制をとるなど、全面的に支援をし人材確保を優先にしています。同時に、保育士の観察力を育てるため、日常の乳児会議・幼児会議や毎日昼に開催するショート会議の場を活用して職員間の話し合いを徹底しています。「教師は、環境と子どもの架け橋になる」ことを実践しています。</p> <p>③保育士、看護師による受け入れ時の視診、衣服の着脱や身体測定での身体の異変や体重の増減を確認し、小さな事でも見逃さずに職員で共有し合うことを徹底しています。記録は、写真に残し、家庭でのケガが大きいときには特に気をつけています。</p> |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 実施の可否 |
| ① 日常の保育にあたっては、個人の意思を尊重している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○     |
| ② 子どもを尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○     |
| ③ 虐待の防止・早期発見のための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                        |              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>(2) 利用者のプライバシー保護を徹底している。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                        | <b>A</b>     |
| <p>①保護者からは個人情報使用同意書に署名をもらい、園便り・ホームページ内の写真館・園紹介などに情報を掲載する同意を取り付けています。特に、写真館はIDパスワードを入力しなければ内容を見ることができないように保護されています。写真館は原則過去1年間のデータが保管されており、登録された保護者でなければ見ることはできません。写真館のデータは、年度単位で保管されており、各保護者が、このデータから取り付けた写真から卒園アルバムの制作をしています。</p> <p>②子どもを「一人の人格ある人間として尊重をすること」が基本です。」保護者、職員も個人情報の扱いに対しての同意書を提出、職員はプライバシーの保護に関しても意識を高めため、毎日のショート会議を通して、全クラスの様子、気になる家庭などの情報共有をしています。</p> |                                                        |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                        | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 子どもや保護者に関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている。 | ○            |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 利用者の気持ちに配慮した支援を行っている。                                  | ○            |

## ＜サービス実施に関する項目＞

| 共通評価領域                                                                                                                                                                                                                                 |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供                                                                                                                                                                                                             |  |
| <p>利用者満足 of 把握に向けて「意見を言いやすい環境づくり」として、行事終了後には必ずアンケートを配布しています。アンケート等は、回収結果を分析して職員で話し合い、記録を残して次年度の運営に活かせるようにしています。</p> <p>アンケートの回収率が十分とはいえないため、アンケート配布時には丁寧に保護者に協力を呼び掛けています。</p>                                                          |  |
| <p>子ども一人一人の発達に応じた援助をするため、指導計画に沿った個人記録や家庭と園との連絡ノートを活用して支援しています。クラスを乳児と幼児の2クラスに分けてモンテソーリの教育プログラムを中心にした縦割り保育を大幅に導入しています。</p> <p>子ども同士刺激を受ける機会を多くし、互いを思いやる気持ちを育てています。モンテッソーリの教具を使つての遊びを通じて、子どもとしてのやりがいや奉仕する気持ちを体験させています。</p>               |  |
| <p>保護者と年2回の個人面談の他、保育参観や毎月開催される誕生会に家族の参加を呼び掛けています。誕生会では、昼食も一緒にし、忌憚のない意見交換の場としています。毎週発行する園のだより（タッチ）、月のおしらせ、保健便り、給食便り、月2回のクラス便りなど、月に9～10回の発行を行い、保護者との連携を深めるお知らせ重視をしています。</p> <p>保護者に多くの発信していますが、まだ理解が不十分なため、今後は保護者に知らせる情報発信の工夫が望まれます。</p> |  |

| 評価分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                     | B     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| (1) 利用者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                     |       |
| <p>①利用者満足の把握に向けて「意見を言いやすい環境づくり」として、行事終了後には必ずアンケートを配布しています。同時に、玄関の保護者の目に入りやすい場所に意見箱も設置してPRしています。アンケート等は、回収結果を分析して職員で話し合い、記録を残して次年度の運営に活かせるようにしています。アンケートについては、その回収率が十分とはいえないため、アンケート配布時には、丁寧に保護者に協力を呼び掛けています。</p> <p>②保護者とは、年2回の個人面談の他、保育参観や毎月開催される誕生会に家族の参加を呼び掛けています。誕生会では、昼食も一緒にし、忌憚のない意見交換の場としています。他に毎週発行する園のだより（タッチ）、月のおしらせ、保健便り、給食便り、月2回のクラス便りなど、月に9～10回の発信を行い、保護者との連携を深めるお知らせ重視をしています。しかし保護者の理解が及ばないため、利用者満足の向上に向けた発信の工夫が望まれます。</p> |                                     |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                     | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 利用者満足の把握に向けた仕組みを整備している。             | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 利用者満足の向上に向けた仕組みを整備し、サービス向上に取り組んでいる。 | ●     |

| 評価分類<br>(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                               | A     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------|
| <p>①「保護者が相談や意見を述べやすい環境整備」として、子どもたちの送迎時が利用者の声を直接聞くことができる大切な機会であると認識しています。先ず第一に「担任を中心にした保護者への声掛け」を行っています。乳児は連絡ノート、幼児は出席カードの中にあるノート欄を活用して、きめ細かく進めています。</p> <p>②苦情解決の仕組みについては、苦情処理マニュアルに手順が明示され、主任を窓口担当者・園長を解決責任者、第三者委員の連絡先などが取り決めてあります。園としての対応は苦情受付時には、直ちに園長・理事長への報告と、保護者への迅速な対応を行えるように、その方法が指示されています。</p> <p>園のしおりには、苦情だけでなく「保育についてのお悩みやご相談がある場合」には、相談窓口として活用いただけるものとして、保護者に知らされています。</p> <p>③相談・苦情等を受けた場合は、タッチダイヤル（園が定めた用紙）を使用して、相談・苦情要旨と回答内容等が記録されます。タッチダイヤルに記入された相談・苦情内容は、できるだけその日のうちに回答ないし、解決のための目途を知らせしています。</p> |                               |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                               | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 子どもや保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。    | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 子どもや保護者からの意見等に対して迅速に対応している。   | ○     |

| 評価分類<br>(3) 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                   | B     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------|
| <p>①子ども一人ひとりの発達に応じた援助をするため、指導計画に沿った個人記録や家庭と園との連絡ノートを活用しています。</p> <p>②クラスを乳児と幼児の2クラスにして縦割り保育を主活動にし、子ども同士の刺激を受ける機会を多くし、互いを思いやる気持ちを育てています。さらに、生活が豊かになり社会性を培う機会として散歩などの活動の検討が期待されます。</p> <p>③その日のお当番（3～5歳）・お世話さん（グループ内で年少に教える/5歳、行事や発表・体操（専門体操教師）や歌・手遊び・英語遊び専門教師）への参加、モンテッソーリの教具を使ってのお仕事を通じて子どものやりがいや奉仕する気持ちを体験させています。</p> <p>④特別の支援を必要な子どもに対し、市の書式に基づいた指導計画を作成しています。子どもが出来る範囲で行う事を基本とし、保護者と密に連絡を取っています。支援施設を利用する場合は保護者からその施設での様子を聞き、園と施設が情報を共有しています。虐待や家庭に問題のある子に対して、区役所と児童相談所と連携し情報共有を行い、虐待防止の研修参加（発達相談支援コーディネーターや他の研修に参加）しています。</p> |                                                                   |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                   | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 子ども一人ひとりを受容し、その発達の過程や生活環境などの理解を深めて働きかけや援助が行われている。                 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 様々な人間関係や友達との協同的な体験ができ、生活が豊かになるような環境が整備されている。                      | ●     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 子どもが主体的に活動し、自分を表現し、他者の表現を受け入れる力が育つように支援している。                      | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 特別の配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。 | ○     |

## ＜サービス実施に関する項目＞

| 共通評価領域<br>4 サービスの適切な実施                                                                                                                                                                                                                            |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>毎朝の子どもの受け入れ時の視診と子どもと保護者との会話を大切にしています。乳児は連絡ノート、幼児は出席カードの中の検温欄とノート欄の記入に注意して確認しています。職員は職員連絡ノートに記入して内容確認を徹底して、お迎えの時にその日の様子を伝えています。</p> <p>さらに、その日のクラス全体の様子は、ホワイトボードに記載して掲示しています。保護者の考え方・提案などの把握は、送迎時の他、個人面談、誕生会、懇談会などの対話を大切に活用しています。</p>           |  |
| <p>モンテッソーリ教育プログラムを導入して、縦割り保育を基本にしています。天候・気温などにもよります、午後は全園児による園庭遊びを行います。年齢、発達に応じたコーナー設定も行っています。年上の子は年下の子の面倒を見る雰囲気できており、子どもたちの間で情緒面でも受け入れやすいように配慮しています。保育時間が長い子どもたちにとっても、落ち着いて過ごせる環境となっています。</p>                                                    |  |
| <p>幼児（3～5歳児）はピュッフェスタイルで、食べたい量を自分で皿に盛りつけを行って自席に運び、おかわりも用意されています。乳児（1～2歳児）には、食事の際に箸や皿を置くスペースを刺繍で示したランチョンマットを置いてアドバイスに工夫しています。</p> <p>食育活動の様子を写真入りの説明やクラス便りを掲示して示しています。園の畑で収穫した野菜や季節の野、果物等を玄関や保育室に置いて説明しています。毎月の誕生会では、園児の保護者に試食してもらい、意見交換をしています。</p> |  |

| 評価分類<br>（１）家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                             | A     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------|
| <p>①毎朝の子どもの受け入れ時の視診と子どもと保護者との会話を大切にしています。乳児は連絡ノート、幼児は、出席カードの中の検温欄とノート欄の記入にも注意し、確認しています。</p> <p>②子どもが基本的な生活習慣を身に付け積極的に身体活動ができるための支援として挨拶・手洗い・排泄・食事・遊びの中での決まり事などに見本を見せるなどして丁寧に伝えています。</p> <p>③保護者からの伝達や連絡ノートを通しての情報が大切ですが、特に休み明けや、病気明け、睡眠不足など、子どもの様子を見て午前寝に誘う、午睡時間を長くするなど対策を講じています。</p> <p>④職員連絡ノートの記入・確認を徹底して、お迎えの時にその日の様子を伝えています。さらに、その日のクラス全体の様子をホワイトボードに記載して掲示しています。お迎えが保護者以外になった場合などは、気になる出来事があれば、別途電話をして保護者に直接伝えるなどの配慮もしています。</p> <p>⑤保護者の考え方・提案などの把握は、送迎時の他、個人面談、誕生会、懇談会などの対話を活用したり、行事ごとに実施するアンケートも有力な手段として実施しています。</p> |                                             |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 登園時に家庭での子どもの様子を保護者に確認している。                  | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるよう支援を行っている。 | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 休息（昼寝も含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している。             | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている。          | ○     |
| ⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 保育所の保育に関して、保護者の考え方や提案を聴く機会を設けている。           | ○     |

| 評価分類<br>(2) 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 | A     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------|
| <p>①当園には年齢ごとのクラスもありますが、1～2歳児の乳児クラス、3～5歳児の幼児クラスの2クラスになっています。乳児クラス・幼児クラスがそれぞれ1フロアで、年齢による仕切りはありませんが、各フロアには、観葉植物植物や季節の花と家具なども活用して、コーナーが作られています。壁には季節ごとの花や動物などの写真も飾られています。家具の配置などは、保育時間が長くなっても家庭の居間の雰囲気を取り入れて、子どもたちが居心地の良さを感じられるよう、種々工夫して配置されています。</p> <p>②モンテッソーリ教育が導入されているので縦割り保育が基本になっています。天候・気温などにより、午後は全園児による園庭遊びも取り入れています。年齢、発達に応じたコーナー設定も行っています。年上の子は年下の子の面倒を見て可愛がる風潮ができていることもあり、子どもの情緒面で良好に感受できる環境があり、保育時間が長い子供たちにとっても落ち着き過ごせる配慮が行き届いています。</p> |                                 |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                 | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている。     | ○     |

| 評価分類<br>(3) 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                        | A     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------|
| <p>①幼児（3～5歳児）はビュッフェスタイルで、食べたい量を自分でお皿に盛りつけを行って自席に運び、おかわりも用意されています。各テーブルにお花や「おこぼし皿」を用意され、乳児（1～2歳児）には、食事の際にお箸やお皿を置くスペースを刺繍で表示したランチョンマットが置かれています。子どもへのアドバイスを工夫しています。</p> <p>②栄養士・調理師が調理を行い、旬の物を取り入れたり、自園で収穫した野菜を取り入れ、薄味で素材の味や触感をいかしています。おやつや、延長保育の捕食は手作りで作り、温かい物は温かく、冷たい物は冷やし気配りもして提供しています。</p> <p>③除去食対象児は、専用の献立表を保護者に配布しています。自園の厨房で給食を作り、除去の必要なものは代替え食品を提供しています。体調に合わせて、油物を除いたり、雑炊や煮込みうどんも用意しています。</p> <p>④食育活動の様子を写真入りでタッチやクラス便り別紙で掲示、園の畑で収穫した野菜や季節の野菜、果物等を玄関や保育室に置いて説明しています。毎月の誕生会では、園児の保護者対象に試食も提供して意見交換をしています。</p> |                                        |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                        | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 子どもが楽しく、落ち着いて食事を取れるような雰囲気作りに配慮している。    | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | メニューや味付けなどに工夫をしている。                    | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 子どもの体調や文化の違いに応じた食事（アレルギー対応を含む）を提供している。 | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 保育所の食事に関する取組を保護者に対して伝える活動をしている。        | ○     |

| 評価分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                | A     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------|
| (4) 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                |       |
| <p>①健康維持については、看護師やクラス担任の保育士が、保護者の集まりの会、子どもたちには紙芝居を利用して伝えています。交通安全教室への参加（3～5歳児）、手洗、うがいの励行の大切さをPRしています。感染症についてはサーベイランス情報を玄関に表示して注意を喚起しています。</p> <p>②園医の健診・歯科健診・身体測定の結果を「すこやか手帳」などで、保護者へ伝えています。その他に、病歴表を作成し職員に周知、その都度会議でも全員に周知しています。</p> <p>③タッチ（毎週発行園便り）、クラス便り（月2回）、保健だより・給食だより（毎月）発行し、園の情報を詳しく提供しています。感染症や乳幼児突然死症候群（SIDS）等に関する情報は園に掲示すると同時に園内の発生状況、欠席の状況を玄関にも掲示し、保護者に周知しています。</p> |                                                |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている。         | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それぞれの保育に反映させている。   | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 保護者に対して感染症や乳児突然死症候群（SIDS）等に関する情報を提供し、予防に努めている。 | ○     |

## ＜組織マネジメントに関する項目＞

| 共通評価領域                                                                                                                                                                                                   |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 5 運営上の透明性の確保と継続性                                                                                                                                                                                         |  |
| <p>法人独自が開発したシフト票により、一日の受け入れ園児数を10分単位で把握し、この時間に合わせて必要な保育士を算出して職員管理をしています。</p> <p>シフト制の職員は、出勤するとまず業務日誌を確認し、その日の園情報は全職員が把握して共有しています。シフトの変更は柔軟に対応し、無理のない効率的な保育活動ができるような仕組みになっています。</p>                       |  |
| <p>園の自己評価、職員の自己評価、保護者からのアンケートなどから課題を明確にしています。園や個人ごとに合った改善策や改善実施計画を立てて取り組んでいます。</p> <p>計画の作成は、職員で話し合い、最終的な確認・承認は園長や主任が行っています。</p>                                                                         |  |
| <p>理念・基本方針の理解のために入園説明会では「園のしおり」「重要事項説明書」を基に説明しています。また、保護者会、懇談会で説明を行い、園だより、給食だより、保健だよりなどの園から発信する情報紙で基本方針などを伝えています。</p> <p>しかし、理念・保育方針・保育目標の表現が発信媒体によって表現に統一を欠いています。園内情報や外部への情報提供も含む情報媒体に統一した表現を期待します。</p> |  |

| 評価分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                          | A     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------|
| (1) 事業所が目指していること(理念・基本方針)を明確化・周知している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                          |       |
| <p>①理念・基本方針については入園時や保護者会で説明しています。保護者の理解が深まるように園だより(タッチ)、クラスだより、保健だより、給食だよりなどに具体的な内容を記載しています。</p> <p>②園の理念・基本方針を基に指導計画の作成が行われ、職員の評価、反省、改善が基本方針にぶれず順序立てられているか園長や主任が確認しています。また、「千年たちばなマニュアル」(保育ガイド)を入社時に配布し、保育活動の実践に向けた研修を行っています。</p> <p>③理念・基本方針の理解のために入園説明会では「園のしおり」「重要事項説明書」を基に説明しています。また、保護者会、懇談会で説明して、園だより、給食だより、保健だよりなど、園で発信する情報紙に基本方針を伝えています。理念・保育方針・保育目標の発信物によって表現が異なり、保護者が理解しがたい面もありますので情報媒体での表現方法の見直しが期待されます。</p> |                                          |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                          | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 理念・基本方針を明示している。                          | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 理念・基本方針について、職員の理解が深まるような取組を行っている。        | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 理念・基本方針について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取組を行っている。 | ○     |

| 評価分類<br>(2) 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                               | A     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------|
| <p>①運営法人が、中・長期的な事業計画を策定しています。法人の中長期計画に基づいて、園の年度ごとの事業計画・事業報告を策定しています。</p> <p>②中長期計画の内容を反映した事業計画、モンテッソーリ教育の環境整備や園内設備修繕計画など上半期・下半期ごとに見直しを掛けながら策定しています。</p> <p>③上半期・下半期に分けての事業報告を理事会でしています。法人の各分園の報告や意見交換などを行い、園での新たな仕組みや運営における保育の質の向上、人材育成などを検討し、次の事業計画に反映しています。</p> <p>④年度ごとの事業計画は、会議などで職員に周知しています。</p> <p>⑤事業計画は、園だより・タッチや保護者会で園の方向性を説明をしています。</p> |                               |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                               | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されている。 | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 中・長期計画を踏まえた年度単位の事業計画が策定されている。 | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 事業計画の策定が組織的に行われている。           | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 事業計画が職員に周知されている。              | ○     |
| ⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 事業計画が保護者等に周知されている。            | ○     |

| 評価分類<br>(3) 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                | A     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|
| <p>①園長としての業務を説明し、職員には、園全体の仕事が把握できるように庶務・行事担当など役割担当表を文書化し、それぞれの役割を明確にしています。</p> <p>②園長・主任は、保育サービスの質の向上を図るために質に関する課題や改善に向けて実際に保育現場に入り、指導力を発揮しています。特にモンテッソーリ教育の実践に向けて園独自の保育活動が浸透するように資格未修得職員の現場演習も行っています。</p> <p>③園児数を10分単位で割り出し、保育活動に平均的な職員配置ができるようなシフト調整をしています。シフト制の職員が、出勤時にその日のすべての情報を業務日誌で把握し、園全体の情報を共有しています。また、職員のシフトの変更は柔軟に対応し、無理なく効率的に保育活動ができるように配慮をしています。</p> |                                |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。      | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。     | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。 | ○     |

|                                                                                                                                                                    |                                                 |              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>（４）質の向上に向けた取組が組織的に行われている。</b>                                                                                                                    |                                                 | <b>A</b>     |
| <p>①今年度は開園2年目を迎え、初めての第三者評価を受審しています。受審にあたって職員全員による評価や改善などをまとめた園の自己評価を提出しています。</p> <p>②園の自己評価、職員の自己評価、保護者からのアンケートなど、評価結果に基づいて課題が明確になり、改善策や改善実施計画を立てた取り組みを行っています。</p> |                                                 |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                        |                                                 | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                  | サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。                   | ○            |
| ②                                                                                                                                                                  | 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。 | ○            |

|                                                                                                                                                                                                         |                                |              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>（５）経営環境の変化等に適切に対応している。</b>                                                                                                                                                            |                                | <b>A</b>     |
| <p>①社会福祉事業全体の動向についてか神奈川県・川崎市の待機児童数をネットワーク情報で潜在的利用者のデータなどを収集しています。毎月、高津区役所児童家庭課に園児数の確認や高津区開催の園長会議・主任会議で地域の特徴や変化などの情報や意見交換をしています。</p> <p>②地域の子育て支援や親の質問などから今求められている課題を見出し、園としての取り組みを検討し、事業計画に反映しています。</p> |                                |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                             |                                | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                                                       | 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。        | ○            |
| ②                                                                                                                                                                                                       | 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。 | ○            |

## ＜組織マネジメントに関する項目＞

|                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>共通評価領域</b><br><b>6 地域との交流・連携</b>                                                                                                                                                                                    |
| <p>園庭開放、人形劇、運動会、盆踊りなど園行事を行い、地域の子育て親子の参加を呼び掛けています。また、高津区主催の未就園の子どもたちと遊ぶ「橘キッズ」に職員が絵本の読み聞かせなどお話会に参加しています。</p> <p>地域の公園で行われる「公園体操」や高齢者施設に年2回子どもたちと訪問し、高齢者と一緒に遊んだり、歌ったり楽しいひと時を過ごしています。子どもたちは、太鼓を披露し、高齢者の皆さんから大変喜ばれています。</p> |
| <p>川崎市主催の健康管理研修会や栄養士研修会などに参加し、共通の課題や新しい情報を持ち帰り、園に反映しています。</p> <p>高津区主催の作品展には、5歳児と4歳児の作品を出しています。また、高津区の保育祭りや地域の未就園児対象に行われる「橘1キッズ」に職員が絵本の読み聞かせなどに参加し、地域の福祉ニーズを把握しています。</p>                                               |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>（１）地域との関係が適切に確保されている。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <b>A</b>     |
| <p>①川崎市子育て支援のホームページ、「ホッとこそだて・たかつ」、「ひろばノート」、「遊びの広場」などに園の情報を提供しています。また、近隣の方の目に触れやすいように掲示板で園行事参加を知らせています。</p> <p>②園庭開放、人形劇、運動会、盆踊りなど園行事に地域の子育て親子の参加を呼び掛けています。また、未就園の子どもたちと遊ぶ「橘1キッズ」職員が参加しています。地域社会の一員として地域の公園で行われる「公園体操」や高齢者施設に年2回子どもたちと訪問し、高齢者と一緒に遊んだり、太鼓を披露しています。</p> <p>③ボランティア受け入れには、園長・主任がオリエンテーションとしてプライバシーや守秘義務などの説明をし、保育の現場での心構え、注意なども伝えています。前年度は川崎市の中学生・高校生の職業体験を2日間受け入れています。また、絵本の読み聞かせ「お話会」のボランティアも受け入れています。</p> |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <b>実施の可否</b> |
| <b>①</b> 地域社会に対して、開かれた組織となるよう、事業所に関する情報を開示している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○            |
| <b>②</b> 事業者が有する機能を地域に提供している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○            |
| <b>③</b> ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                              |              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>(2) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                              | <b>A</b>     |
| <p>①高津区主催の園長・主任会議、高津区看護師連絡会などに参加し、具体的な課題や新しい情報などについて意見交換をしています。また、日本モンテッソーリ協会全国大会に出席し、各園のモンテッソーリ教育導入の情報などを得ています。</p> <p>②川崎市主催の健康管理研修会や栄養士研修会などに参加し、共通の課題や新しい情報を得、園に反映しています。地域の高齢者施設に訪問し、子どもたちが高齢者と話や遊びを一緒にしたり、子どもたちは和太鼓を披露しています。双方により良い刺激が、生まれています。</p> <p>③川崎市高津区主催の作品展に5歳児と4歳児の作品を出しています。また、高津区の保育祭りや地域連携の未就園児対象に行われる「橘1キッズ」に職員が絵本の読み聞かせなどに参加し、地域の福祉ニーズを把握しています。</p> |                                              |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                              | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 関係機関・団体との定期的な連絡会等に参画している。                    | ○            |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 地域の関係機関・団体の共通の課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 | ○            |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 地域の福祉ニーズを把握するため事業・活動に参加している。                 | ○            |

## ＜組織マネジメントに関する項目＞

| 共通評価領域                                                                                                                                                       |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 7 職員の資質の向上の促進                                                                                                                                                |  |
| <p>基本方針や中・長期計画の中に職員に求める人材として倫理観や高い専門技術の向上を明示しています。保育の質の向上に必要な職員のキャリアアップとして年間の研修計画を作成しています。</p> <p>モンテッソーリ教育をはじめ、職員の経験や職務に必要な内部・外部研修の参加を促して人材育成に取り組んでいます。</p> |  |
| <p>定期的に職員の個人面談を行っています。園内の人間関係や保育状況などに問題があれば園長や理事長によって就業環境を調整しています。子育て中の職員においては、子どもの生活を優先にし、人員体制の変更をしています。</p>                                                |  |
|                                                                                                                                                              |  |

| 評価分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                              | A     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------|
| (1) 事業者が目指しているサービスを実現するための人材構成となるよう取り組み組んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                              |       |
| <p>①中心となる常勤職員に加え、非常勤勤務の職員を多く雇用することで職員の勤務時間の重複を解消しています。</p> <p>②看護師、栄養管理士、調理師など有資格職員の配置などは、運営法人が行います。職員の人材育計画も作成され、職員の活動の様子や本人の希望なども考慮した研修受講を促し、キャリアアップにつなげています。</p> <p>③職員の遵守すべき法令・規範・倫理は、入社時に就業規則や「職場と心構え」「千年たちばなマニュアル」に明文化しています。また、毎日のショート会議で保護者との関わり方など職員間で話し合い、適切な対応に心がけています。</p> <p>④職員の人材マネージメントは運営法人が行っています。職員にはキャリアアップ制度があり、園長と面談しながら、自己評価、目標の提出、希望する研修の参加など、職員がキャリアアップする環境は充分整えられています。トータルのな人事考課、育成・評価・報酬などは運営法人の理事長が行います。</p> <p>⑤前年度は、専門学校の実習生を受け入れています。本人の希望に沿ったプログラムを作成し、充実した実習になるよう配慮しています。</p> |                                              |       |
| 評価項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                              | 実施の可否 |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 必要な人材や人員体制に関する具体的な考え方が確立している。                | ○     |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 具体的なプランに基づく人材の確保に取り組んでいる。                    | ○     |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。           | ○     |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格など）が連動した人材マネージメントを行っている。 | ○     |
| ⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 実習生の受入れと育成が積極的に行われている。                       | ○     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                  |              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>(2) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                  | <b>A</b>     |
| <p>①基本方針や中・長期計画の中に職員に求める人材として倫理観や高い専門技術の向上を明示しています。保育の質の向上に職員のキャリアアップとして必要な年間の研修計画を作成し、モンテッソーリ教育はじめ、職員の経験や職務に必要な内部・外部研修の参加を促すなど人材育成に取り組んでいます。研修費用や研修に伴うシフト調整などにも配慮しています。</p> <p>②個別の職員の技術水準、知識、専門資格の必要性を見極めた教育、研修計画が実施されています。ピアノ技術向上のための手当てやモンテッソーリ資格修得の費用も法人が負担しています。</p> <p>③職員は年度初めに立てた自己目標に対して年度末に研修の成果、自己評価、反省など園長に報告します。職員の研修後の評価・分析した結果を次の研修計画に反映したり、研修内容やカリキュラムの見直しをしています。研修を終えた職員は報告レポートを提出し、研修内容を発表する機会も設けています。</p> |                                                  |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                  | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。                        | ○            |
| ②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。 | ○            |
| ③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。                     | ○            |

|                                                                                                                                                                                                                            |                                      |              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------|
| <b>評価分類</b><br><b>(3) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>                                                                                                                                                                               |                                      | <b>A</b>     |
| <p>①定期的に職員の個人面談を行っています。園内の人間関係や保育状況などに問題があれば園長や理事長によって就業環境を調整しています。子育て中の職員においては、子どもの生活を優先にし、人員体制の変更をしています。</p> <p>②福利協会・福祉医療機構に加入し、退職金の積み立てをしています。また、職員の健康管理として年一回健康診断の受診をしています。有給休暇や休憩時間はしっかりと心身ともに健康を維持するように配慮しています。</p> |                                      |              |
| <b>評価項目</b>                                                                                                                                                                                                                |                                      | <b>実施の可否</b> |
| ①                                                                                                                                                                                                                          | 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | ○            |
| ②                                                                                                                                                                                                                          | 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。           | ○            |

認可保育所 利用者調査項目（アンケート）

- アンケート送付数（対象者数）（ 51 ）人
- 回収率 47.1% （ 24 ）人

サービスの提供

| 利用者調査項目 |                                         | はい    | いいえ   | どちらとも<br>いえない | 無回答  |
|---------|-----------------------------------------|-------|-------|---------------|------|
| 1       | 子どもが生活する保育室は、落ち着いて過ごせる雰囲気を整えられていますか     | 83.3% | 0.0%  | 16.7%         | 0.0% |
|         |                                         | 20 人  | 0 人   | 4 人           | 0 人  |
| 2       | 保育中の発熱や体調不良、けがなどの対応、保護者への連絡は適切ですか       | 75.0% | 8.3%  | 16.7%         | 0.0% |
|         |                                         | 18 人  | 2 人   | 4 人           | 0 人  |
| 3       | 食事・おやつなどのメニューは、子供の状態に配慮された工夫がありますか      | 62.5% | 25.0% | 12.5%         | 0.0% |
|         |                                         | 15 人  | 6 人   | 3 人           | 0 人  |
| 4       | 日々の保育の様子が情報提供されており、保育について職員と話することができますか | 83.3% | 4.2%  | 12.5%         | 0.0% |
|         |                                         | 20 人  | 1 人   | 3 人           | 0 人  |
| 5       | 季節や自然、近隣とのかかわりが保育の中に感じられますか             | 87.5% | 0.0%  | 12.5%         | 0.0% |
|         |                                         | 21 人  | 0 人   | 3 人           | 0 人  |
| 6       | 各種安全対策に取り組まれていますか                       | 79.2% | 8.3%  | 12.5%         | 0.0% |
|         |                                         | 19 人  | 2 人   | 3 人           | 0 人  |

利用者個人の尊重

|   |                                   |       |      |       |      |
|---|-----------------------------------|-------|------|-------|------|
| 7 | お子さんは保育所で大切にされていると思いますか           | 83.3% | 4.2% | 12.5% | 0.0% |
|   |                                   | 20 人  | 1 人  | 3 人   | 0 人  |
| 8 | 職員はあなたやあなたの子どものプライバシー（秘密）を守っていますか | 87.5% | 0.0% | 12.5% | 0.0% |
|   |                                   | 21 人  | 0 人  | 3 人   | 0 人  |

相談・苦情への対応

|    |                                                   |       |       |       |      |
|----|---------------------------------------------------|-------|-------|-------|------|
| 9  | 園に相談したり、意見を言いやすい雰囲気ですか                            | 45.8% | 16.7% | 33.3% | 4.2% |
|    |                                                   | 11 人  | 4 人   | 8 人   | 1 人  |
| 10 | 要望や不満があったとき、第三者医院(保育所外の苦情解決相談員)などに相談できることを知っていますか | 41.7% | 8.3%  | 45.8% | 4.2% |
|    |                                                   | 10 人  | 2 人   | 11 人  | 1 人  |
| 11 | 園は要望や不満などにきちんと対応していますか                            | 41.7% | 8.3%  | 45.8% | 4.2% |
|    |                                                   | 10 人  | 2 人   | 11 人  | 1 人  |

周辺地域との関係

|    |                         |       |       |       |      |
|----|-------------------------|-------|-------|-------|------|
| 12 | 周辺地域、関係機関との関係は良好だと思いますか | 25.0% | 20.8% | 50.0% | 4.2% |
|    |                         | 6 人   | 5 人   | 12 人  | 1 人  |

利用前の対応

|    |                                                          |       |      |       |      |
|----|----------------------------------------------------------|-------|------|-------|------|
| 13 | 【過去1年以内に利用を開始され、利用前に説明を受けた方に】サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったですか。 | 75.0% | 0.0% | 25.0% | 0.0% |
|    |                                                          | 6 人   | 0 人  | 2 人   | 0 人  |



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323